

教育目標

『正しい人権意識や、豊かな心を持ち、自ら考え実践する逞しい子どもを育てる。』

めざす児童像 『○仲良く助け合う子 ○よく考える子 ○心身ともにたくましい子』

☆ 今年度の重点努力目標 ☆

基礎学力の充実

- ① 基礎学力の定着を図るため、個に応じたきめ細かな指導とわかる授業の工夫・改善に努める。
- ② 体験的な学習や課題解決的な学習なども取り入れ、そのことを通じて主体的に学び、考え、課題を解決する能力など確かな学力の向上に努める。
- ③ 学び方、調べ方、まとめ方等を身につけ、言語力や表現する力の向上に努める。

人権・同和教育の推進

- ① 人権を大切にし、合理的なものの見方、考え方を身につけ、正しく行動できる児童の育成をめざす。
- ② 児童の発達段階に即して、人権意識を高め、同和教育をはじめ、様々な人権問題について、正しく理解認識するための基礎を身につけさせる。
- ③ 家庭や地域と連携を深め、日常生活において児童が人権に関わることがらを自らの生き方の問題ととらえ、行動できる態度を養う。

道徳教育の充実

- ① 計画的・系統的に取り組み、心のノート等を有効に活用し、心の教育の充実を図る。また体験的な学習を充実させ、豊かな人間性・社会性を育む。
- ② 児童の実態を的確に把握し、効果的な指導方法や内容の充実、指導資料の開発に努める。
- ③ 家庭や地域と協力しながら、児童の規範意識の強化に取り組み、その道徳的実践力を高める。

特別支援教育の推進

- ① 児童一人ひとりが、その能力や可能性を最大限にのばし、自立できるように支援する。
- ② 全教職員が、特別支援教育に対する理解と認識を深めるための研修の充実を図り家庭や地域への啓発に努める。

生活指導の充実

- ① いじめ・不登校、問題行動の防止に全教職員が共通理解や一致した取り組みを行い、「子どもの居場所づくり」の推進に努める。
- ② 家庭と連携し、児童の生活実態を共有し、基本的な生活習慣の定着化や規範意識の育成に努める。
- ③ 児童と教職員との心のふれあいを深め、児童理解や信頼関係づくり努めると共に自己実現への指導・支援に努める。

家庭・地域との連携の推進

- ① 健全な児童の育成をめざして、家庭・地域との連携を深め、協力・協働の立場で具体的実践の方策を図る。
- ② 学校の方針・日々の実践をできるだけ家庭・地域に発信し学校外部評価実施に資すると共に学校自らも自己点検や自己評価を行い、教育課題の解決と学校運営の見直し・改善に生かしていく。

危機管理体制の充実

- ① 校内における施設・設備の安全点検を徹底すると共に、外部侵入者から児童の安全を守る体制および火災・地震等の緊急災害時の連絡・避難体制の充実を図る。
- ② 校外における登下校時および地域における安全等について、日頃から通学路の安全点検、交通事故・不審者等から身を守る指導を徹底し、また家庭・地域、関係機関との連携を強め、迅速な対応がとれるよう努める。

めざす子ども像
なかよく助け合う子
よく考える子
心身ともにたくましい子